

## 文化省が100日間に実施可能な事項と自粛すべき事項等を公表

10月13日のプミポン国王逝去を受けて、民間企業などの間で、国王への弔意を示す祭壇の設置や、黒色の服や弔意を示す服を着用する動きが広がっている。当地に進出する日系企業の間でも、国王への弔意や従業員への配慮などを理由に、祭壇を設ける例が多数報告されているほか、日本人駐在員に対して黒色のスーツ着用を奨励する動きなどが定着している。

これらの動きを受け、タイの文化省は現在、祭壇設置や喪服の着用などに関し、テレビ放送などを通じて細則や実施要領の説明を繰り返し行っている。具体的には、「(国王逝去後)100日間に実施可能な事項および自粛すべき事項」として、20項目におよぶガイダンスを示している。

この規則と実施要領の中には、祭壇の設け方や写真の設置の方法、弔意を示す際に適切とみなされる服装の範囲など、進出日系企業にも参考となる項目が含まれることから、以下、該当箇所をジェトロバンコク事務所にて仮訳した。

### <祭壇に関して>

- 祭壇に掲げる国王の遺影は白黒でもカラー写真でも構わない。しかし写真に祝いを示す印があってはならない。
- 祭壇は広場(屋根が無い場所)に設置しても良いが、相応しい場所に設置すること。
- 企業、百貨店、および店舗は、適正に判断し、祭壇を設けてよい。

### <服装に関して>

- 民間企業の従業員の服装について、ユニフォームが黒色でない(白色など)の場合、腕に黒いテープを巻くことで弔意を示していると見なされる。しかし王室の象徴(シンボル)を付けてはいけない(※言及はないが通常は左腕に巻く。また、10月16日の首相府報道官の説明によれば、「(白・黒の服が無い場合)状況に応じて(左)腕または胸に黒のリボンを付けることで代用可能」とされている)。

### <半旗掲揚に関して>

- 半旗とはポールの上から旗を1/3降ろすことをいう(ポールの中央ではない)。
- 半旗の30日間とは2016年10月14日から数える。

### <その他>

- 首相府の布告に沿った儀式を行う際、白黒のリボンを使う場合は、上段が黒、下段が白とする。
- ゲームセンター、カラオケ店、映画館は通常どおり営業してよい。しかし、内務省の通知に従って賑わいを落とすことに協力を求める。
- 結婚式は禁止はしておらず、適正に判断し、しかるべき場所であれば執り行うことができる。

- ローイクラトン(収穫に感謝する目的でおこなう灯籠流しの祭事)は行って良い。しかし、賑わいを消しておこなうこと。

以上